

■ タレンツ・トーキョー修了生作品特別上映会 & クロストーク

上映は、ジャヌス・ヴィクトリア監督『ひとりで死ぬのはイヤだから』のほか、ワン・ピンウェン監督『春行』、マクバル・ムバラク監督『沈黙の自叙伝』の3作品です。いずれも著名な国際映画祭での受賞作品です。

「タレンツ・トーキョー」×「恵比寿映像祭」による特別企画

加えて11月8日(日曜日)は、東京都写真美術館で開催している「恵比寿映像祭」の第2回コミッション・プロジェクトファイナリストでもある小田香監督(TT2015修了生)とSpanic Films代表を務める曾我満寿美プロデューサー(TT2011修了生/『ひとりで死ぬのはイヤだから』プロデューサー)をお迎えし、クロストーク「作ること、映すこと」を開催(10時30分～)します。「タレンツ・トーキョー」での経験が現在の創作活動にどのように生かされているのかをテーマに、映画制作の舞台裏や創作の魅力に迫ります。さらに、多様化する映像表現と映像受容の在り方を問い直してきた「恵比寿映像祭」での作品や「映像制作」が持つ意義について語っていただきます。【司会:清水裕/東京国際映画祭プログラマー】



■ 特別上映会 開催概要

名称: 「タレンツ・トーキョー2026」プレイベント修了生作品特別上映会

日程: 2026年11月6日(金曜日)～8日(日曜日)

会場: 東京都写真美術館 ホール

主催: 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、タレンツ・トーキョー実行委員会

入場: 無料 (要事前申込、詳細は後日公式ウェブサイトにてお知らせします)

≪上映作品≫



(TT2013修了生)

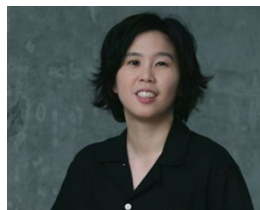
ジャヌス・ヴィクトリア監督 2025年ウディネ・ファーイースト映画祭 新人監督賞受賞

●作品:『ひとりで死ぬのはイヤだから』(2024)

11月7日(土曜日):15時35分-

11月8日(日曜日):13時00分-

※各回上映後、ジャヌス・ヴィクトリア監督及び曾我満寿美プロデューサーによるQ&Aあり



(TT2019修了生)

ワン・ピンウェン監督 第71回サン・セバスティアン国際映画祭 最優秀監督賞受賞

●作品:『春行』(2023)

11月7日(土曜日):10時20分-

11月8日(日曜日):15時50分-

※各回上映後、ワン・ピンウェン監督によるQ&Aあり



(TT2025修了生)

マクバル・ムバラク監督 第79回ヴェネツィア国際映画祭 国際映画批評家連盟賞受賞

●作品:『沈黙の自叙伝』(2022)

11月6日(金曜日):16時30分-

11月7日(土曜日):12時45分-

※各回上映後、マクバル・ムバラク監督及びユリア・エヴィナ・バラプロデューサーによるQ&Aあり